

=市史編さん便り= 【第3号】 令和3年5月14日（金）発行.

*****土佐清水市教育委員会生涯学習課・市史編さん室

「高知大学教育学部地理学研究室」

土佐清水市を研究のフィールドに市内各地を踏査実施！

今月9日～11日の2泊3日の日程で高知大学教育学部地理学研究室の4年生5名と同研究室・佐竹泰和講師の6名が、社会科の地域教材作成のための研修で本市を来訪した。9日は土佐清水ジオの会・井上会長のガイドによる「市街地巡り」、10日は同会の吉田・浅野両ジオガイドによる「清水サバツアー」、11日は生涯学習課市史編さん室による「社会科教材づくり講座」と「竜串地区見学（グラスボート乗船）」を体験・学習した。

11日の「社会科教材づくり講座」は、10時から11時までの約1時間、市役所第4会議室で開始した。10日に実施した「市街地巡り」を基本に土佐清水市街地形成について、近世から現在に至るまで「絵図」「明治時代の地形図」「越浦埋め立て写真」等をもとにしてその歴史の流れを確認した。

小中社会科学学習指導要領の目標をかみ砕き、地域学習素材をどのような切り口で構成していくかについてもいくつかのヒントを提示した。また、教師としての心構えについて質問する学生さんもおおり、教職を志す強い意欲を感じたことだった。来月から実施される教員採用や公務員採用試験にチャレンジするようだ。力ある教員や公務員になってほしいと願う。

「土佐清水市立小中学校校長研修会」

納屋見学と民具・学校史資料見学

土佐清水市立小中学校長会・佐竹正史会長（清水小学校長）が当生涯学習課に依頼があり、中浜納屋見学（武政商店）に同行して巡見したあと、中浜小学校に収蔵している民具と大津小学校史資料の見学・解説を行いました。

納屋見学では、「湯がいたメジカのバラ抜きや整形」「アマ（薫乾設備）」「ボサ」等を巡見した。ボサは大月町から取り寄せており、納屋近くの空き地に積載され、備蓄している。その他、カツオの種類、節の種類（カビ付きの本枯節ほか）、良質の節の見分け方等を学習した。良質の節は油分が少ない。

中浜小学校では、初めに当課市史編さん室・吉本職員により、「民具の種類」「民具を授業で活用する際の事務手続き」等についてざっくりと説明があった。吉本職員は、昭和50年代の「市広報誌」「ふるさと写真集」に掲載された民具写真を活用して民具

の説明を分かりやすく解説していた。そのあと、近世末中浜浦の山城屋の繁栄、万次郎の少年時代の中浜浦の様子などについて田村が講話を行った。

民具の見学の際、清水中学校の斧川哲也校長は、本市出身であり、幼い頃の昔の田植えの状況も記憶しており、「田植え枠」の使い方について逆に若い吉本職員に教示していた（笑）。また、足摺岬小学校の平林也奈校長は、かつて大津小学校に勤務していたことがあり、旧大津小学校史資料の写真や教材を懐かしく回想していた。

次回には、清水高校にもアプローチして、デジタルやイミテーションにはない本物の文化財や実物教材で授業づくりしていただけるよう声かけをしていきたいと考える。若い頃に教職大先輩が、「教育は地域を知ることから始まる」という教えは、いまだに私の耳朶を離れない。況やその歴史や文化を学ばずして真に教育は語れないと思う。教科書の字面には書かれていない真実の実相がそこにあるのではないだろうか。「市史編さん事業」は単に市史を執筆・編集することだけではない。これを語り、伝えていくことも重要な取り組みであると私は考えている。

